

平成28年度 第3回五城目町地域公共交通協議会
会 議 録

1 日 時 平成29年2月24日(金) 午後1時30分～午後2時40分

2 会 場 五城目町役場 4階 大会議室

3 協議案件

- (1) 五城目町地域公共交通網形成計画について
基本的な方針
計画の目標
目標達成のための事業

4 出欠状況	出席委員	別紙「委員出欠表」のとおり	23名
	欠席委員	別紙「委員出欠表」のとおり	7名
	事務局	別紙「委員出欠表」のとおり	5名

5 議事内容 別紙のとおり

開 会 時 刻	(午後1時30分)
澤田石まちづくり課長	定刻となりましたので、ただ今より、平成28年度第3回五城目町地域公共交通協議会を開会いたします。
	はじめに、武田会長よりごあいさつをお願いいたします。
武田和栄 会長	(あいさつ)
澤田石まちづくり課長	それでは、これ以降の会議進行は、協議会規約により武田会長よりお願いします。
武田和栄 会長	よろしくお願いします。 議事に入る前に、会議録署名員を選任いたします。私から指名させていただくこととしてよろしいでしょうか。
他の委員全員	異議なし。
武田和栄 会長	それでは、会議録署名員2名を指名させていただきます。 伊藤英紀 様 (町身体障害者協会) 佐藤 優 様 ((株)あったか五城目) 以上2名を指名させていただきます。よろしいでしょうか。
他の委員全員	異議なし。
武田和栄 会長	伊藤様、佐藤様、よろしくお願いいたします。 それでは、協議に入ります。 協議(1)「五城目町地域公共交通網形成計画について」、基本的な方針、計画の目標、目標達成のための事業を事務局より一括して説明願います。説明が長くなると思われませんが、それぞれについて分かりやすく、丁寧に説明するようお願いいたします。

伊藤 郭 係長	(当日配布の「参考資料1」、「参考資料2」及び配布済の「協議資料」により説明。)
武田和栄 会長	事務局より説明がありました。委員の皆様より、ご意見をお願いします。
伊藤英紀 委員 (町身体障害者協会)	循環型コミュニティバスだが、秋田市で実施されている高齢者を対象とした100円で乗れるワンコインバスの運行は、非常に利用率が高いと聞く。町での循環型コミュニティバスの導入について、具体的な案があれば教えていただきたい。
澤田石まちづくり課長	循環型コミュニティバス等の導入については、平成30年度以降の実施を目指しております。現段階においては、まだ具体的なものはなく、平成29年度において、利用者である町民の方々、関係機関、協力事業者の方々と協議しながら進めていきたいと考えております。
小玉哲男 委員 (五城目地区町内会長会)	スクールバス車両の有効活用として、一般客の混乗を進めること。開始予定はいつ頃になるか。
澤田石まちづくり課長	今回、提案させていただいた11本の事業は、今後の5年間で、計画的に実施していきたいと考えております。スクールバスの一般客の混乗については、五城目小学校の改築場所が確定したのち、着手に向けて具体的な協議を進めて参りたいと考えております。 併せて、全国的な先進事例や文部科学省の補助制度等についても調査、研究を進めて参りたいと思います。
小熊新一 委員 (大川地区町内会長会)	公共交通空白地域の解消に向け、平成30年度から大川地区、馬川地区を網羅した循環型コミュニティバスなどの実証実験を計画されているようだが、町では、周知をどのように行う予定か。

澤田石まちづくり課長	公共交通空白地域の解消についても、コミュニティバスの運行がよいのか、デマンド型の乗合タクシーの方が良いのかなどを今後、協議していくこととなります。
	実証実験に際しては、当然周知を行います。それまでの過程においても地区座談会の開催などにより、十分に住民の皆様からご意見を頂きながら進めて参りたいと考えております。
小熊新一 委員 (大川地区町内会長)	先日、大川地区の各代表と地域公共交通に係る話し合いの場を設けた。結果としては、まだ交通に不自由を感じている地区住民は少なく、地域公共交通に関しての住民意識は低いものと感じた。
	これから進む高齢化に対応していくためにも、地域住民の意識の高揚を図るワークショップの開催が必要であると感じている。
	よろしくお願ひしたい。
伊藤建一 委員 (町老人クラブ連合会)	循環型コミュニティバスの実施計画、良いことだと思う。加えて、町の中に人を呼び込むためには、周辺市町村との連携、イベントの開催が必要であると思う。
	高齢者の運転免許の返納を推進していくためには、やはり呼び水が必要と思われる。全国的には、特典を用意しているという事例もあるようなので、前向きに検討してもらいたい。
伊藤 郭 係長	広域連携については、八郎潟町、大潟村などと各町村の交通事情や施策などを確認しあう研究会をスタートさせたところです。
	運転免許の返納時の特典についても調査、検討して参りたいと考えております。
齊藤芳博 委員 (秋田中央交通(株))	確認だが、協議資料44ページの1日の平均利用者数として示している数字は、広域バスに関しては1日の平均乗車密度という解釈で間違いはないか。

伊藤 郭 係長	そのとおりです。資料は、後ほど修正させていただきます。
齊藤芳博 委員 (秋田中央交通(株))	承知した。利用率は年々減少してきている。地域の皆様が乗っていただく、利用していくことが地域公共交通の維持につながる。利用促進についても一緒に考えていきたい。
	協議資料42ページ、乗り継ぎ拠点として想定しているのは、バスターミナル、イオンスーパーセンターという考え方でよいか。
伊藤 郭 係長	そのように想定しております。また、五城館、朝市ふれあい館等も乗合タクシーの拠点としており、乗り継ぎ拠点ではありませんが、にぎわいを創る交流拠点として考えております。
齊藤芳博 委員 (秋田中央交通(株))	協議資料43ページの地域公共交通の役割について、それぞれ微妙に役割が異なるものとは思いますが、複合している部分が多々あるのではないかと感じる。結果、共倒れになってしまうのではないかと危惧している。幹線的な役割を担うものは何か、補完的な役割を担うものは何かということをより明確にしていく必要があるのではないかと。今後、そうした面を協議する機会を与えていただければと思う。
武田和栄 会長	ご指摘いただきましたとおり、それぞれの地域公共交通の役割をより明確化していくことが必要と思われれます。今後も協議にご協力をお願いしたいと思います。
佐々木輝毅 委員 (株)五城目タクシー	業者側の立場として発言させていただく。現在、富津内線、内川線を担っている。両地域とも、人口に対する登録人数は15%程度の割合である。登録者1人当たりの平均利用は、1.1回から1.2回程度という状況。人口減少により、今後も大幅な利用増は見込めないと思う。森山線については利用が少なく、採算がとれない。色々なルートを走らせることは、利便性の面からは良

	いことではあるが、運行できる最低限度の利用率について基準を定めることが必要だと思う。どれだけ行政がコストをかけられるのか、持続可能なものとして推進していくためにも、ボーダーラインの設定が必要と思われる。企業としても最大限努力していく所存である。
	また、高齢化によるドライバー不足も深刻な問題である。5年後、10年後は、ますますドライバー人口が減少しているということ念頭にしておく必要がある。
武田和栄 会長	業者側からの立場として、貴重なご意見ありがとうございました。他にご意見等ございませんか。
伊藤 誠 委員 (馬川地区町内会長会)	循環型コミュニティバスは、イベント開催などでも相乗効果が期待されることから必要なものと思う。いつでも、誰でも利用できるのであれば、それなりに需用も出てくると思う。財政面等、課題は多々あると思うが、実現に向け前向きに進めてもらいたい。
松倉和美 委員 (秋田県交通政策課)	循環型バスの運行を求める声が多いが、運行を廃止してデマンド型の乗合タクシーを導入したという経緯がある。こうした経緯の振り返りを町ではどう捉えているか、説明をお願いしたい。
武田和栄 会長	町では、以前、ほぼ町全域を周る循環バスの実証運行を実施した経緯があります。結果、利用率が低く、また高齢者による利用割合が多いということから、乗合タクシーによる運行が有効と判断し、今日に至っているという経緯があります。 現状においては、乗合タクシーの利用率も低くなってきており、いかに事業効果を高めていけるかが課題であり、今後も調整が必要と感じているところです。

松倉和美 委員 (秋田県交通政策課)	本日、現存する路線の利用状況を確認する意味でも、五城目までバスを利用して出席させていただいた。秋田駅を出発し、五城目バスターミナルの到着まで利用された方は、私を含め3人であった。
	秋田市の100円のワンコインで乗れるバスは、確かに乗車率が高いが、安ければ乗るのかといえば、それは地域事業により異なるもので、必ずしもそうではないと思う。
	今年度、小坂町では週1便の予約型タクシーの運行を開始した。それまでは、公共交通が全くなかった地域である。予約型であるが8月から運行し、運行しなかった日は1日だけ。1便あたりの乗車は平均2.8人。週1便だけではあるが、高齢者にとっては非常にありがたいというお話を伺っている。
	先ほど、事業者の方からの厳しい状況報告もありましたが、利用者の方も事業者の方もうまく回るような地域公共交通をつくりあげていただければと思う。
武田和栄 会長	参考となる事例を含め、貴重なご意見を頂きました。ありがとうございます。ほかにご意見等ございませんか。
小玉俊雄 委員 (富津内地区町内会長会)	感想となるが、これまで協議を重ねてきたことの経緯が分かりやすく説明されており、目標とそれを達成するための事業についても議論されてきた内容がしっかり網羅されていると感じる。着実な実施を目指してもらいたい。
佐藤 優 委員 (株)あつたか五城目	人口減少に伴い、バスにせよ、乗合タクシーにせよ、利用率は厳しいものとなってきている。一方で、時間的にも束縛されない自家用車の利便性もある。ただ、これから町の公共交通を考えると利用頻度を高めていくことが不可欠であり、個人だけでなく、町内会をはじめとする各種団体、町全体で共通認識を高めていくことが必要と思う。そのためのPR活動や啓蒙活動も必要である。

武田和栄 会長	貴重なご意見ありがとうございました。
	本地域公共交通網形成計画の策定に際し、国土交通省からは、
	より幅広く意見を聴取するよう求められております。本日の計画
	案をもって、縦覧により住民の方々からのご意見を聴取したいと
	考えておりますが、異議ございませんか。
他の委員全員	異議なし。
武田和栄 会長	ありがとうございます。
	本日欠席された方からのご意見、また皆様からの追加のご意見
	につきましては、別紙「五城目町地域国興交通網形成計画につい
	てのご意見」により承りたいと存じます。こちらは、3月14日
	までに事務局にご提出くださいますようお願いいたします。
	事務局より、今後のスケジュールについて説明をお願いします。
伊藤 郭 係長	会長からお話しされたとおり、追加の意見等は別紙により、3
	月14日までお願いいたします。また、縦覧につきましては3月
	1日から3月14日を期間として実施いたします。こちらで頂き
	ましたご意見等を踏まえ、必要部分は修正し、最終的な計画案を
	とりまとめ、次回の協議会でお諮りしたいと存じます。次回協議
	会の開催は3月中旬、下旬に開催したいと考えております。よろ
	しくお願いいたします。
武田和栄 会長	以上をもちまして、第3回五城目町地域公共交通協議会を閉じ
	ます。ご協力ありがとうございました。
閉 会 時 刻	(午後2時40分)

会議録署名員

紀英藤



会議録署名員

優藤

